



コロナ禍の中国出張体験記

今私は西安のホテルの一室にいます。海外から来た人は14日間の隔離が必要で、今日やっと13日目です。中国では新型コロナウイルスの水際対策がたいへん厳しく行われています。これにより中国全土の新しい感染者は少なく、一日約40人前後で、その殆どが海外から来た人です。ちょうどいい機会ですので、ここで私の中国への入国、その後の隔離の体験を皆さんに紹介させていただきます。

先ず日本で航空券予約時に、出発24時間以内のPCR検査を予約します。中国大使館指定の医療機関じゃないといけません。それで出発の前日、名古屋の病院で**PCRと血液の抗体検査**をしました。2時間で結果が出ます。全て陰性でした。その結果で中国駐名古屋領事館が発行した携帯電話のバーコードを登録して、**緑色の臨時健康コードを申請**します。いよいよ出発です。

5月11日、新幹線とバスを乗り継いで成田空港へ向かいました。(中部空港は国際便全て運航停止)10時40分成田到着。東方航空のカウンター前の行列に並びます。午後2時55分発の便で、11時半から手続きを始めました。先ず**検温**。中国領事館からもらった**緑色の臨時健康コード**を見せた後、航空会社のカウンターで搭乗手続きをします。ここで日本の病院からもらった**PCRと抗体検査の陰性証明**を見せます。手続きが終わったら、もう一つ、中国に入国する時の**税関申請用バーコードを携帯電話でスキャン**して登録します。これで空港の手続き完了。昼ご飯を食べたら午後2時25分から搭乗開始。飛行機に乗る前に、又中国の乗務員による**検温**。中国の乗務員は全て白い防護服を着ていて男女も分からないくらい。生々しく、恐ろしい感じも多少しました。機内サービスは基本的ありません。最初から弁当一つと水一本が座席に置いてありました。話によると何も無い便もあるそうです。

飛行機は三時間半飛んで、中国時間6時40分に西安空港に到着。(一年半ぶりの中国です)着いたらしばらくそのまま待たされました。やっと出たら先ず**検温**。入国ゲートの人たちもやはり全て白い防護服を着た人たちばかりです。入国ゲートを通ったら**PCR検査**。日本より痛い。深いし、しかも鼻の2穴とも！隣の部屋から女性の悲鳴も聞こえた気がしました。検査が終わって下で荷物を待ちます。30分くらい待ったら荷物が来ました。外の広い路上に置かれており、消毒液で全部濡れています。布のケースだったら駄目ですね！

ホテルに向かうバスの両側には防護服を着ている警察官もたくさんいて、私たちを逃がさないためでしょうか？

1時間後、西安市内にあるビジネスホテルに着きました。防護服を着た人がたくさんいて、荷物を下してもらいました。このホテルは隔離専用になって、一般のお客さんはいないです。中国の身分証明書を出して、部屋番号をもらいました。鍵はありません。つまり一旦部屋に入ったら出られない。鍵も必要ないということです。部屋と部屋の間も往来禁止ですと告げられました。

部屋に入ってしばらくすると、廊下からみんなの不満の音が聞こえてきました。割り当てられたホテルは設備が古く、あまりきちんと掃除してない感じ、浴槽がなくシャワーしかありません。(四つ星の良いホテルに割り当てられる場合もあるようなので、運ですね。)部屋には二週間分の水とトイレトーパーなど置いてあり、タオルなどリネン類は一式だけ。期間中に交換しません。ホテルの費用として宿泊代一日245元、食事代一日100元、14日で4830元、日本円で約8万円です。**期間中更に2回PCR検査と抗体検査**をしました。費用は160元です。

朝食は7時半、昼は12時、夜は6時。各部屋のドアの外に椅子が置いてあり、弁当はその椅子の上に置かれます。声を聞いたら自分でドアを開けて、自分で部屋に運びます。食べ終わったら外に出します。食事は中華料理の弁当で、肉、魚、野菜、ご飯、果物等バランスがとれています。包子、麺類などもあり、主食のバラエティーも豊富でした。でも不満のお客さんも少なくないようです。ストレスかもしれません。

毎朝部屋に置かれた古いタイプの体温計で体温を測って報告。午後4時に医療関係者が各部屋に来て**体温測定**。勿論防護服です。ちなみに弁当を持ってくる人も防護服です。期間中に**健康コードと心理テスト**も行われました。24時間相談もできます。私たち50人くらいの客に対し、8名のスタッフが対応し、一名日本語を話せる人もいます。

幸いにも私は明日午後6時40分に開放される予定です。二週間は大変だったけど、オンライン会議や資料の確認など、やるべきことがたくさんあって、思うより早く過ぎました。でも西安に残る人は、これから更に自宅で7日間隔離します。(北京、西安など大都市は合計21日間隔離)私は明日飛行機で杭州へ向かいます。ホテルの人と警察は私たちを飛行機に乗せるまで送って下さる様です。逃がさないようになあ。

飛象過河

テレビの人気番組「チョコちゃんに叱られる」でもやってましたが、中華料理のテーブルの上で、さらに回転する小さなテーブルは、昭和の初期に、日本人が考えついたものようです。これがありますと、料理を盛った大きな皿を、手を伸ばさなくても、手許に回してきてから取ることができます。

これなら「飛象過河」という、食

事のマナーに反しないことになり

ます。「飛象過河」とは、自分の手前の料理を飛び越えて、対面の人の前の料理を取ることで、中国象棋からきた言葉で、やってはいけないマナーです。

それから中国には、箸の持ち方のマナーは無いようで(芥川賞作家の楊逸さんは、中国では子供のときか

ら厳しく躰けられたと書いていますが…) 今度、中国人と食事するときに、注意して見て下さい。

会員 内田稔



※こちらの寄稿は、編集部の手違いにより掲載が大変遅れてしまいました。本当に申し訳ございません。ご寄稿ありがとうございました！

成語故事コーナー

gāoshānliúshuǐ

高山流水 (こうざんりゅうすい)

春秋時代、俞伯牙 (ユハクガ) という、とても有名な琴の名人が居ました。ある夜、彼は遊覧船に乗りました。そして、涼しい風を受け、美しい月を眺めながら琴を取り出し、「高山流水」という曲を奏で始めました。

伯牙が一曲弾き終わった頃、岸の方から声をかけてくる者が居ました。伯牙が振り返ると、そこには薪の束を背負って立つ木こりが居ました。伯牙は、木こりが琴の演奏を気に入ってくれたのだと知り、彼を船に乗せ、演奏を続けることにしました。

伯牙が高山を讃える曲を奏でると、木こりは大きな声で言いました。

「素晴らしい！雲を突き抜けて立つ、雄大な泰山が目浮かぶようだ！」

伯牙が大海を歌う曲を奏でると、木こりは大きな声で言いました。

「美しい！躍動する波と、果てしない海が目浮かぶようだ！」

伯牙はとても驚いて言いました。「貴方の言ったことは、私が心に描いていたことそのものだ。これほど私を理解する者に出会えるとは！」

木こりの名は、鍾子期 (ショウシ

キ) といいました。以来、二人はとも仲の良い友人となりました。

伯牙と鍾子期の故事から、心が通じ合った友人同士を表す言葉としても説明される「高山流水」ですが、一般的には、単に雄大な自然を表現する使われ方が多いそうです。

ネットで検索すると、伯牙が作曲したとされる「高山流水 (曲名)」の演奏動画を沢山見つけることができます。実際に演奏を聴いてみるときどんな情景が目浮かんでくるのか、試してみるのも面白いかもしれませよ。

漢方教室 125 自然の恵みフコイダン

【フコイダンとは】

フコイダンとは、ワカメやコンブ、メカブなどの海藻類のヌメリ成分に多く含まれる天然成分で粘質多糖類の一種です。1913年にスウェーデンの学者によって発見され、「フコイダン」と名付けられました。

このヌメリ成分は、海藻が砂などで傷ついてしまった部分を修復したり、引き潮の時に体が乾燥するのを防いだりする、海藻にとっては大切な成分であり、特にモズクに多く含まれている事がわかっています。

【沖縄県産モズクのフコイダン】

様々な海藻類でフコイダン含有量を調べたところ、沖縄県産モズクの

フコイダンは他の海草に比べフコイダンの含有量が3~7倍と郡を抜いていました。動物実験でもその生理作用は他の海草由来のフコイダンに比べて、優れているという結果が出ています。

【安恵フコイダン】

日本安恵のフコイダンは、国内で広く支持されている沖縄産モズクを100%使用しています。さらに、フコイダンの働きを強力にサポートする「鹿角霊芝・破壁霊芝孢子粉」「有胞子乳酸菌」をプラス配合。独自の手法により天然の分子量を出来るだけ



損なわないように丁寧に抽出し、平均分子量30万レベルの高分子となっています。

また、フコイダン以外の成分や不純物を取り除き、高純度かつ安全性の高いフコイダンです。

もちろん防腐剤・着色料・保存料などの添加物は使用しておりません。

ご興味のある方は、052-242-3930まで。

中統ビル3階 日本安恵株式会社



中国からの引き揚げ—思い出すがままに④⑨

2年生になってようやく対外試合に出してもらえるようになりました。地域の剣道愛好家の方との試合、岐阜県内では下呂近くの加子母村まで遠征したこともあり。校内を出ていろいろな地域の人と試合をすることは、校内の練習試合では得られないさまざまな経験を積むことになり、大変勉強になりました。昭和20年代の後半から30年代の初めにかけて、田舎の高校で剣道をやっているところは少なく、対戦相手を求めては、技を磨いていきました。

いよいよ岐阜の県大会に出場することになりました。会場は、岐阜市内の徹明体育館でした。当時岐阜市に行くには、瑞浪から多治見で太多線に乗り換え、美濃太田を経由して岐阜市に行くか、瑞浪から中央線にのり、名古屋を経由して岐阜に行く二つの方法がありました。私たちは、いつも行きは、多治見で太多線に乗り換え、岐阜へ。帰りは名古屋経由で中央線で帰りました。不便な道のりでしたが、県大会に出場するという事で高揚した気持ちを抑えることができませんでした。

試合は1チーム5人制で、先鋒、次鋒、中堅、副将、大将という編成でした。

杉本 克治

新コーナー お便り

先月の趙予菡さんの投稿について、会員さんからさっそくお便りを頂いたので、こちらで紹介したいと思います。

「黙り込んで過ごした年月を 拾い集めて暖炉で燃やし暖まっている。」なんて まさに詩ですね。恋を失い 明日がなくなったような暗闇と寒々さのなか、声をかけてくれる友人のあたたかさが また明日をたぐりよせてくれますね。

北海道の南端の襟裳岬の海岸は絶壁で、人も住まないところ。海南島は海岸線が美しいビーチなのではないでしょうか。

趙予菡さんはシンパシーと友情をこの歌から受け取られたのですね。

この歌のキーポイント「あたたまっていきなよ」の微妙なニュアンスは中国語ではどうなるかなあと思いました。

日本語でも(あたたまって)「行ってください」「いきなさい」「いけよ」「いくといいよ」「行けば？」のどれも この情感は伝えられない気がします。

趙予菡さん、ありがとうございました。森進一の歌う「襟裳岬」は、発表当時に聴いていた会員さんも多いのではないのでしょうか。

それでは、次の投稿に行きましょう。今月のお話は二回目の登場となる趙姣姣さんです。どうぞ！

すべての子供が愛されるように 趙姣姣

親に見捨てられた子どもを描いた「誰も知らない」という映画を観て、かわいそうに思った。それが実際の事件に基づいて作られたものだと知ってさらに驚いた。

わたしは家庭教師の仕事で母親を亡くした男の子を教えている。父親に暖かく見守られているからか「僕はお父さんを守りたい」と強がっていた姿がかわいかった。子どもは「愛」さえあれば、悩みを乗り越り、幸福に成長することができると思った。

子供を守ることは国にとっても大事な課題であるが、私たち一人一人にも責任があると思う。周りの子

供に関心と理解を持ち、泣いた子を抱きしめ、身近な児童虐待を阻止するなど。子どもに愛さえあれば、不幸を経験しても嵐の後の虹に、もしくは蛹を出た美しい蝶に変わるだろう。

以上、趙姣姣さんの投稿でした。趙姣姣さんは本当に日本の映画が好きなんですね。これからの投稿も楽しみにしています！

会員さんからのお便りもお待ちしています。感想や励ましのメッセージなど、どしどしお寄せください。

お知らせ

★6月例会

6月例会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

★JCCA 中国語サロン

日時：6月5日（土）19日（土）14：30～

★日本語広場

6月の日本語広場はお休みです。

★7月例会

未定

★6月のニューズレターにてお知らせいたします。

上山学院の様子

新年度に入りに入り一か月が経ち、学生たちも学校に慣れてきました。今年度はとうとう学生全員がコロナ禍で入国した学生ばかりになり、カリキュラムも今の状況にあった内容に一新して取り組んでいます。また入国待機組の学生もオンラインで工夫して授業をしています。人数が少ない分、連携がとりやすくなるなどいい面を生かして、今年ならではの学生サポートになればと思います。

とはいうものの、再び緊急事態宣言となりなかなか親睦イベントが出来ず、学生のストレスも溜まっていると思います。感染防止には厳しく取り組みつつも、その辺の工夫ももどかしい課題です。一日も早くマスクなしの学生の笑顔が見られますように！！

・学生のイラスト付き自己紹介



私はグリミラともうします。ミラと呼んでもいいです。中国から来たウイグル人です。

暇な時音楽を聞いて、ドラマを見ます。でもやっぱり猫が一番大好きです。そして美味しい物を食べると心が晴れます。

どうぞ宜しくお願いします。

近況報告コーナー

4月の例会は本当に久しぶりでした。皆様の笑顔・ハリのあるお声に接して、楽しい時間を持てたことを感謝します。

コロナ禍で太極拳や中国歴史の勉強会を1年以上自粛しています。ワクチンの順番を待ちながら、家内は旅行のパンフレットを眺めては、あそこもここも行きたいと言っています。中国の友人はもう普通の生活に戻ったと言っていますが、日本では留学生が来日できない、アルバイトもままならないといった状況ですので、心が痛みます。

医療従事者そのご家族の方々の献身的なお働きに心から感謝しつつ、巣ごもりが早く昔話になることを願っています。

会員 中村義昭

親子で贈る二胡 七夕のゆうべ14「和」

・日時：7月7日（水）

18：00 開場 18：30 開演

・会場：名古屋能楽堂

名古屋市中区三の丸 1-1-1

・入場料：5,000円（全席指定）

・主催：NPO 法人チャン・ビン二胡演奏団

TEL：052-763-1082

【演奏予定曲】

「風月同天」「月の砂漠」「たなばたさま」「病中吟」
「第三二胡狂騒曲」「Io ti penso Amore」など

編集局

編集局では現在、携帯電話番号、生年月日、E-Mail アドレスのご登録を推奨しています。イベントのご案内、「誕生日の人の言葉」の掲載、WEB サイト更新の通知などに使用致します。china@chuto.co.jp 宛にご送付ください。ニューズレターは、WEB サイトにてカラー版を公開しています。郵送不要の方は「郵送不要」とご連絡ください。



〒460-0008 名古屋市中区栄 4-16-29 中統奨学館

TEL：052-262-1410 FAX：052-262-5036

一般社団法人日中文化協会

編集長 上山耕治